

事業所名	ひばりん
------	------

公表日 3/19/2026

利用児童数 130

回収数 59

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	53 (90%)	2 (3%)	0 (0%)	4 (7%)		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	51(86%)	1(2%)	0(0%)	7(12%)		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46(78%)	5(8%)	0(0%)	8(14%)	・送迎をお願いして施設環境は見学の時くらいしか見せていただいていないので正直あまりわかりませんが、適切なのではないかと思います。	生活空間に関しては制限もありますが、できる限り環境面での配慮を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	53(90%)	4(7%)	0(0%)	2(3%)		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	58(98%)	1(2%)	0(0%)	0(0%)	・子ども一人ひとりをきちんと見てくださって、対応してくださっているのが、とても親にまで伝わっております。家庭での対応も教えてくださり、大変感謝しております。 ・いつもこどもの特性など理解して柔軟に対応している。	今後も一人ひとりに寄り添った支援を実施していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	58(98%)	0(0%)	0(0%)	1(2%)		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	59(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	・支援の具体的な方法など記載されていたり、連絡帳に細かく記入してくださっている。	本人の困りに対応した個別支援計画の作成、連絡帳での情報共有を今後も継続していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	57(97%)	1(2%)	0(0%)	1(2%)		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	56(95%)	0(0%)	0(0%)	3(5%)		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	48(81%)	4(7%)	0(0%)	7(12%)	・子どもの苦手な分野を固定せずまんべんなく行ってくれている。	今後も本人の困りに応じて柔軟かつ総合的な支援を実施していきます。ひばりんの支援の詳細についてはホームページ及び支援プログラムをご覧ください。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	28(47%)	6(10%)	6(10%)	19(32%)		
保護者 への 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	59(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	59(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23(39%)	11(19%)	7(12%)	18(31%)		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	56(95%)	1(2%)	0(0%)	2(3%)	・毎回手書きで様子を伝えてくださり大変な作業だと思うのですが、とても様子が伝わるのと、きちんと見てくださっていることが伝わってきております。 ・連絡帳に本人が勉強でわからなかった際、模型を使用したブロックを使ったり工夫されている。	連絡帳、電話連絡を通して日頃の情報共有を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50(85%)	7(12%)	0(0%)	2(3%)	・何かあった際には、ともに向き合ってください。親以外の存在からも同じことを言われることがすごく響いているのではないかと考えております。	定期的に面談を実施しています。どんなことでもお気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	56(95%)	0(0%)	0(0%)	2(3%)		

明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15(25%)	9(15%)	10(17%)	25(42%)		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	52(88%)	2(3%)	0(0%)	5(8%)		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	54(92%)	3(5%)	0(0%)	1(2%)	・何度か連絡したのに振替利用で迎えがない、または休みの連絡を入れたが迎えがあり児童館の先生が混乱するなどあった。 ・たまにお迎えがないときがあるので、それに関しては改善をお願いしたいです。	ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。事業所内での業務フローの確認・整備を行い、また各職員に周知することで、再発の防止に努めていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	43(73%)	7(12%)	1(2%)	7(12%)	・今更ではありますが玄関にたくさん新聞記事が気になってしまいます。	ひばりんだより、HP、掲示物などを活用して、必要な情報を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	55(93%)	1(2%)	1(2%)	2(3%)		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	49(83%)	1(2%)	2(3%)	7(12%)		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	48(81%)	2(3%)	0(0%)	9(15%)		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	52(88%)	4(7%)	0(0%)	3(5%)		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	46(78%)	2(3%)	0(0%)	11(19%)	・子どもが学校で目をけがした際、すぐに連絡してくれて、病院受診のことについて親身になってくれた。	今後も速やかな対応を行っていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	57(97%)	2(3%)	0(0%)	0(0%)		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	48(81%)	9(15%)	2(3%)	0(0%)	・楽しく通っているのうれしいです。 ・勉強がつまらないから行きたくないということがあり、支援を嫌がるというよりは勉強をしたくないという感じです。	楽しく学ぶことができるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	58(98%)	1(2%)	0(0%)	0(0%)	・子どもの特性を細かく理解いただき、わかりやすいようにも教えていただき、またほめてくれてありがとうございます。	今後も子どもの自信につながる支援を続けてまいります。

事業所名	ひばりん				公表日	3/19/2026
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		7階の活動室が手狭ではあるが、支援と休憩の部屋を分ける等の工夫で補っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		一人の指導員が、2~3人の子どもの支援にあたっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃を徹底している。活動に合わせて部屋を分けて使用している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		安全の観点から常に指導員の目の届く範囲で活動させている。体調が悪いときやパニックを起こしているときには、個別の部屋で指導員と過ごすことがある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の打ち合わせの中で、支援状況や課題を振り返り、次の支援へつなげている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年保護者アンケートを実施して参考にしている。また、日頃のやり取りや面談の中で寄せられるご意見を業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の打ち合わせを行い、職員の意見を業務改善に反映させている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		3名の外部の方に第三者評価委員になっていただき、業務改善を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各研修に管理者・児童発達支援管理責任者が参加する機会を設けている。毎日の打ち合わせと合わせて、支援の質の向上を図る研修を実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域との関連を明記した支援プログラムを作成し、ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画原案をもとに、担当者会議を実施して、内容を検討している。見直しの際にも、児童指導員の意見を反映させて個別支援計画原案を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		担当している利用者の計画を職員に共有して、共通理解の下で支援にあたっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマルなアセスメントには、事業所独自のアセスメントシート(モニタリングシート)、医療機関による検査結果を用いている。インフォーマルなアセスメントには、支援記録(日々の行動観察や支援の状況を含む)を用いている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個別支援計画原案を作成後、担当者会議を実施している。また日頃から職員間でよりよい支援方法について検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		本人の困りに応じて、支援内容や支援方法を柔軟に変更している。また、学習支援、小集団での遊び、作品製作・販売、現地学習等、複数の活動を組み合わせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日打ち合わせを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後ではないが、翌日に振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		利用者ごとに一回の利用で一枚の支援記録を作っている。支援記録をもとに、翌日の振り返りやモニタリングを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容について自分で目標をもって取り組めるよう対話を重視している。また、相談支援の場面においても、状況を多角的に捉えながら、本人の意思を尊重している。他方で、適応から遠ざかるような安易な選択に陥らないよう注意をはらっている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		すべての利用者が進学だったため事例はないが、提供することができる。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		行っていない。事業所独自の第三者評価は行っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			○	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。			○	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳や電話連絡によって情報共有を行っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			必要に応じてペアレントメンター事業の紹介を行っている。また不定期でひばりん主催の講演会を実施して、参加の案内を出している。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			電話相談、面談を実施して支援を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		講演会やピアノコンサートの開催などで、自然に保護者が交流する場を設けている。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			ピアノコンサートや「まつり」を開催し地域に開かれた活動を行っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			事業所内で飲食を行っていないが、アセスメント時にアレルギーを確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			現在、身体拘束を必要とする児童は通所していない。